

1 推進委員会

日にち	内容	場所
R1. 7. 24	<第 1 回推進委員会> (1) 平成 30 年度事業報告について (2) 令和元年度事業計画 (3) 特色ある区づくり事業（健康福祉課関係）について (4) 次期地域福祉計画策定について	西蒲区役所
R2. 3. 18	<第 2 回推進委員会> (1) 計画の進行管理と評価について (2) 令和元年度事業報告 (3) 令和 2 年度事業計画 (4) 次期地域福祉計画策定について	西蒲区役所

2 地域福祉計画推進講演会

日にち	内 容	参加人数 場所
R2. 11. 9.	<p> <いきいきお達者プロジェクト 西日本豪雨被災地の避難支援から学ぶ講演会> ○演題：西日本豪雨・アルミ工場爆発時の地域住民の避難行動について～自主防災組織の取り組み～ </p> <p> (1) 講師 岡山県総社市 下原・砂古自主防災組織 副本部長 川田 一馬 さん </p> <p> (2) 参加者から寄せられた質問で、川田さんと対策を共有。 </p>	160 人 西川多目的ホール



3 地域の茶の間

内 容		
<p><いきいきお達者プロジェクト専門職訪問介護予防事業></p> <p>作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、保健師など介護予防専門職が地域の茶の間を訪問し、介護予防のアドバイスや相談を行う。</p>		
地域の茶の間	日 に ち ※新型コロナウイルス感染防止のため中止	
間瀬 いくまか家	5月8日(水)理学療法士 7月10日(水)作業療法士 9月11日(水)言語聴覚士	11月13日(水)理学療法士 1月8日(水)作業療法士 ※3月11日(水)言語聴覚士
越前浜 やすらぎの家	5月21日(火)作業療法士 7月16日(火)理学療法士 9月24日(火)言語聴覚士	11月19日(火)作業療法士 1月21日(火)理学療法士 ※3月17日(火)言語聴覚士
西川 (鮎) ほほえみ (微笑)	5月27日(月)作業療法士 7月22日(月)理学療法士 9月30日(月)言語聴覚士	11月25日(月)理学療法士 1月27日(月)作業療法士 ※3月23日(月)言語聴覚士
西川 (曾根) かさぼこの家	6月12日(水)理学療法士 8月7日(水)作業療法士 10月9日(水)言語聴覚士	11月6日(水)理学療法士 12月11日(水)作業療法士 2月12日(水)言語聴覚士
貝柄 貝柄サロン	5月22日(水)作業療法士 7月24日(水)言語聴覚士 9月25日(水)理学療法士	11月27日(水)作業療法士 1月22日(水)言語聴覚士 ※3月25日(水)理学療法士
和納 いこてば	6月24日(月)作業療法士 8月26日(月)言語聴覚士 10月28日(月)理学療法士	11月18日(月)作業療法士 12月23日(月)言語聴覚士 2月17日(月)理学療法士
中之口 呼びこい車	6月20日(木)理学療法士 8月22日(木)言語聴覚士 10月17日(木)作業療法士	11月21日(木)理学療法士 12月19日(木)言語聴覚士 2月20日(木)作業療法士
潟東 ささえ愛ネット	6月26日(水)理学療法士 8月28日(水)言語聴覚士 10月30日(水)作業療法士	12月25日(水)理学療法士 1月29日(水)言語聴覚士 ※3月25日(水)作業療法士
巻 十三輪の家	6月4日(火)言語聴覚士 8月6日(火)理学療法士 10月1日(火)作業療法士	11月5日(火)理学療法士 12月3日(火)言語聴覚士 2月4日(火)作業療法士
巻 あたごの茶の間	12月13日(金)言語聴覚士 1月10日(金)理学療法士	2月14日(金)作業療法士
岩室 石瀬水曜会	1月22日(水)理学療法士 2月17日(水)言語聴覚士	※3月23日(水)理学療法士
松野尾 楽友会	1月30日(木)理学療法士 2月27日(木)作業療法士	

かさぼこの家(言語聴覚士)



あたごの茶の間(作業療法士)



職 種	テーマ
理学療法士	転倒予防の講義と体操 変形性膝関節症 痛みについて 痛みについて 転倒予防と筋力・バランス運動 転倒予防 転倒予防の講話 転倒予防と筋力・バランス運動 筋力トレーニング・体操・ボッチャ 尿漏れについて
作業療法士	健康の維持興味関心チェック・身体活動 認知症の予防 生活行為確認 フレイル・腰痛・転倒予防・にしかんみんなの体操 認知症の予防 生活動作チェック 上肢の体操 介護予防について 生活行為の困りごと 日常生活でよくある身体の悩み コグニサイズ、握力測定 自律神経とストレス
言語聴覚士	健康とフレイル 誤嚥性肺炎について 誤飲性肺炎・飲み込み機能 フレイルとお口の健康 フレイルと食事 難聴について 誤嚥性肺炎、唾液の大切さについて ハンドベル・発声体操
保健師	低栄養 熱中症予防 食中毒予防 インフルエンザ予防 手洗い・ヒートショック 入浴時の体調変化 食生活の新しい目安 感染症予防

No.	地区	世帯数	福祉計画目標	2018	2019	2020
1	巻地区まちづくり協議会	5,987	<p><目標1>単身高齢者世帯を中心に生活状況(安否)の確認のほか生きがい、潤いの日々となるよう地域で支援していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉協力員の育成 ・町内に支援者の輪を広げる <p><目標2>福祉団体の横のつながりを深め、災害時に連携していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流事業を積極的に計画する ・緊急時に助け合うシステムづくり <p><目標3>空き家の有効利用を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な集まり場所 ・世代交流の場 ・子どもたちの居場所づくり <p><目標4>地域の福祉を担う人材づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの育成と組織化 ・ボランティア 		<p>○巻まちづくり協議会会長、支えあいのしくみづくり推進員、福祉計画推進員、区役所地域福祉係、社協のメンバーで座談会開催に向けた協議を実施。先進的に取り組みをヒアリング。まちづくり協議会の範囲は規模が大きいため自治会をピックアップし検討。</p> <p>○ピックアップした自治会に対し計画の主旨・座談会の狙い等の説明を行う。</p>	
2	漆山地域コミュニティ協議会	1,140	<p>① 地域で話し合いの機会、顔を合わせる機会、交流の機会をつくる。</p> <p>② いつでも、誰でも、気軽に集まることが出来る場「地域の茶の間」づくり。</p> <p>③ 自主防災組織の立ち上げを推進します。</p> <p>④ 地域福祉を支える人づくり。</p>	<p>・第2回は助け合いゲームをグループワーク形式で実施。</p> <p>・第3回はワークショップ形式(ファシリテーターは住民)にて実施。</p> <p>「5年後、10年後の自分を考えてみよう」というテーマでワークショップを行う。</p> <p>・地域活動に男性の参加者が不足していることや交通課題、困りごとの吸い上げが実施されていないこと等の課題が挙げられた。</p> <p>・今後は自治会単位へのアプローチを検討していく。</p>	<p>○H29年の取り組みから全世帯向けの見守りチェックシートを作成・配布する方向で協議。赤い羽根協働募金の公募型助成金を活用しシートを作成(参考資料)。</p> <p>9月末に自治会長対象に説明会を実施。10月頃全戸配布。以降定着を図るため各自治会に入り追加の説明を実施している。</p> <p>○次年度も定着に向けた説明会の継続実施。合わせて福祉座談会を年3回の予定で計画。</p>	<p>【福祉座談会2回開催】</p> <p>○第1回(R1.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り支え合いシートについて再周知 ・漆山地区社協が実施した高齢者世帯訪問調査の報告 ・調査報告に関する質疑応答 <p>○第2回(R1.12)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の茶の間設置に向けた話し合い(グループワーク含む)
3	峰岡地区コミュニティ協議会	1,410	<p><目標1>小地域での支え合いを大切にする峰岡地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントを通じて世代間交流の場を拡大し、地域の連携を強化 ・茶の間サロンの立ち上げを積極的に推進 ・老人会の新規加入者増に努める ・明るい挨拶のできる地域 ・地域ボランティアの発掘と育成に努める <p><目標2>だれもが安心して生活できる峰岡地区のために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要援護者の見守り活動を推進 ・防災パトロールの強化に努める ・子育て世代を支援するための手法を進める ・自主防災組織の立ち上げを推進 	<p>・懇談会を開催するにあたっての窓口となる方と社協で実施方法や内容の確認を行い、開催時期を窓口の方が調整を行う。</p>	<p>○支えあいのしくみづくり推進員、福祉計画推進員、区役所地域福祉係、社協で座談会開催に向けた打合せ。</p> <p>○H30.11.29福祉座談会開催。※詳細まとめ資料参照</p> <p>○次年度以降の活動については今後協議予定</p>	<p>【福祉座談会1回開催】</p> <p>○第1回(R1.11)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の茶の間に関する情報提供 ・峰岡地域における地域の茶の間の必要性の有無や設置方法等の検討(グループワーク含む)

No.	地区	世帯数	福祉計画目標	2018	2019	2020
4	松野尾地域コミュニティ協議会	631	<p><目標1>高齢者を1人にしない地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会事業への参加を進める 老人会への加入を呼びかける 1人暮らし世帯への声かけと見守り活動を推進 <p><目標2>子どもが安心して元気に活動する地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族、地域、学校の連携による地域ぐるみで活動を展開 セーフティスタッフの活動と充実に取り組む 子ども主催の事業を推進 コミュニティセンター前広場の有効活用 <p><目標3>すべての住民がつながる地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会事業を通して交流を図り地域住民の連携を強化 地域ボランティアの発掘と人材育成に努める 自主防災組織の活動と強化に努め災害時に1人も見逃さない仕組みづくりを推進 	<ul style="list-style-type: none"> 懇談会を開催するにあたっての窓口となる方と社協で実施方法や内容の確認を行い、開催時期を窓口の方が調整を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○松野尾地区コミュニティ協議会会長、支えあいのしくみづくり推進員、福祉計画推進員、区役所地域福祉係、社協で座談会開催に向けた打合せ。二年前に開催した内容の振り返りを記載した案内文を送付。 ○H31.1.20福祉座談会開催。 ※詳細まとめ資料参照 ○次年度(H31)開催にむけて協議(予定) 	<p>【福祉座談会1回開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第1回(R2.2) ・地域福祉計画と地域福祉活動計画について(説明:行政・社協) ・最近の福祉情勢—見守り活動と支え合い活動の紹介— ・見守り活動や支え合い活動について(グループワーク)
5	角田地区コミュニティ協議会	501	<p><目標1>福祉の移動サービスの開発</p> <ul style="list-style-type: none"> 買い物や通院、コミュニティセンターを利用した集まり等の足の確保 移送サービスの研究 買い物サポート事業の開発 <p><目標2>高齢者も、若者も、暮らしやすい地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> コンパクトなまとまりを活かした支え合いの仕組みづくり 自助、共助お互いさまの地域づくり 児童や高齢者の居場所づくり <p><目標3>支え合いの人づくりで地域力アップ</p> <ul style="list-style-type: none"> 講演、講座で人材育成と意識改革 <p><目標4>人口減への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き家についての取り組み、高齢者シェアハウスなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ協議会会長が交代された為、内容、時期、対象者等含め協議を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○支えあいのしくみづくり推進員、福祉計画推進員、区役所地域福祉係、社協で座談会開催に向けた打合せ。 ○H31.2.22福祉座談会開催。 ※詳細まとめ資料参照 ○次年度(H31)の取り組み方について協議(予定) 	<p>【福祉座談会1回開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第1回(R2.2) ・地域福祉計画と地域福祉活動計画について(説明:行政・社協) ・第2期地域福祉計画の進捗状況と今後の課題、取り組むべきポイントについて(全体討議) <p>※参考資料有</p>
6	岩室地域コミュニティ協議会	3,131	<p><目標1>向こう三軒両隣助け合いのまちづくり</p> <p><目標2>茶の間サロンで広げよう地域のつながり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・岩室地区社協が中心となりサロン未実施の自治会へ働きかけを行う。 		<p>【福祉座談会1回開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第1回(R2.2) ・地域福祉計画と地域福祉活動計画について(説明:行政・社協) ・最近の福祉情勢と見守り、支え合い活動の取り組みについて(情報提供) ・第2期地域福祉計画の進捗状況と今後の課題、取り組むべきポイントについて(全体討議)

No.	地区	世帯数	福祉計画目標	2018	2019	2020
7	西川地域コミュニティ協議会	3,859	<p><目標1>つながりを大切にす西川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・向こう三軒両隣「助け合いの心」を地域に広げる ・高齢者サロン、障がい者サロン、子育てサロンの支援、充実。 <p><目標2>誰もが安心して暮らせる西川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要支援者の把握と連絡体制の整備を進める ・避難場所の周知を進める ・各町内に自主防災組織の立上げを呼びかける 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議と併せて実施。前回の「交通機関の不便さを解消するには」というテーマのもと、「今後の移動手段をどうしていく必要があるか」「その他として地域でできそうなことはないか」の二点についてグループワークを行う。 ・最後に手挙げ方式にて検討チームを立ち上げ、平成30年度に向け活動していく予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域ケア会議と併せて実施。企画段階から福祉計画推進員、支えあいのしくみづくり推進員、区役所地域福祉係、社協が入り協議。「地域の集まる場」について、H30.10.30、12.13と2回開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ※福祉座談会を計画するもコロナウイルスにより中止
8	湯東地域コミュニティ協議会	1,606	<p><目標1>先人を敬い、1人にしない湯東</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生と民生委員で地域の一人暮らし高齢者世帯の訪問をする。 ・地域サロンの充実、高齢者の男性がサロンに参加しやすい体制 ・高齢者を孤立させない活動 <p><目標2>子どもが安心して健やかに育つか湯東</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの安全のため家庭、地域、学校の連携強化に努める ・地域の行事に参加を呼び掛ける ・地域ぐるみであいさつ運動を展開 <p><目標3>障がい者にやさしい湯東</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者施設および団体の催しものに参加協力しながら理解を深める ・障がい者、高齢者、保育園児の交流の場をつくる <p><目標4>地域のつながりを大切にす湯東</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で高齢者のこと、子どものこと、障がい者のことを話し合い理解を深める ・小さな困りごとは地域の助け合いで解決していき思いやりの心をはぐくむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉懇談会をワークショップ形式で実施(社協がファシリ)。 ・横戸・卯八郎受の取り組みについて紹介いただき、その後グループワークにて自身の地域について話し合いを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○湯東地区コミュニティ協議会会長、支えあいのしくみづくり推進員、福祉計画推進員、包括支援センター、老連会長、自治連会長、民生委員会、区役所地域福祉係、社協で座談会開催に向けた打合せ。 ○H30.11.1福祉座談会開催。 ※詳細まとめ資料参照 ○自治会で具体的な取り組みに展開していくため、支えあいのしくみづくり推進員と協議中 	<ul style="list-style-type: none"> 【福祉座談会1回開催】 ○第1回(R1.11) ・昨年開催した福祉座談会について、グループワークにて振り返りを行う。昨年の課題に対する進捗状況、新たな課題の有無等を話し合う。
9	中之口地区コミュニティ協議会	1,729	<p><目標1>安心して暮らせる地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動サービスにかかる研究 ・顔の見えるネットワークづくり <p><目標2>コミュニティーセンターを利用した人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演や講座を利用した人材育成1コインボランティアの育成と登録 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議と併せて実施。専門職と住民組織の情報共有が上手く回っていないという現状に対し、お互いが活動しやすくなるためにはどのような方法がよいか検討する。 ・結果、①民生委員・専門職間で連絡名簿等を共有できないか検討していく②個人情報についての取り扱いの共有③顔の見える関係を築くための機会を作ることが挙げられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中之口地区コミュニティ協議会役員、支えあいのしくみづくり推進員、福祉計画推進員、包括支援センター、区役所地域福祉係、社協で座談会開催に向けた打合せ。 ○H31.3.15福祉座談会開催予定 	<ul style="list-style-type: none"> 【福祉座談会1回開催】 ○第1回(R2.2) ・地域福祉計画と地域福祉活動計画について(説明:行政・社協) ・地域の福祉課題の現状について話し合い(グループワーク)

漆山地区福祉座談会 まとめ

開催日：令和元年8月2日(金) 19:00～20:30

【当日の流れ】

1. 開会挨拶...漆山社会福祉協議会 会長 樋口清隆
2.
 - ①「地域で出来る助け合い活動」について
 - －1. 支え合いシートについて
 - －2. 事例報告
 - －3. 高齢者の単身・夫婦世帯への質問事項(聞き取り)について
 - －4. 質疑応答
 - ②その他
3. 閉会挨拶...漆山社会福祉協議会 会長 樋口清隆

【2-①「地域で出来る助け合い活動」について】

－1. 支え合いシートについて(漆山社会福祉協議会 樋口会長)

漆山地区全戸に配布されている支え合いシート。
生活の中で目につきやすい場所(冷蔵庫を推奨)に貼ることで、普段の生活の中で**気づく・思いやる意識**を醸成することを目的としている(特別新たに何かをするわけではない)。
普段の暮らしで、「新聞が何日も溜まっているな～」「夜になっても電気がつかないな～」「最近本人の様子がおかしいな～」といった気づきを班長や自治会長へ連絡することでお互い様の地域を作っている。

－定着してこそ効果を発揮するもの－

このシートは配布して終わりではなく、漆山地区の住民の意識が変化してこそ効果を発揮するもの。世帯構成の変化や生活スタイルの変容によって、孤立死など新たな福祉課題が漆山でも発生している昨今において、この意識が醸成されてこそ安心して暮らし続けられる漆山地区が作られると思う。定着に向けて引き続き自治会長や班長と協働していきたい。



－2. 事例報告(西蒲区社会福祉協議会 石黒)

－地域住民の気づき・つながりによって救われた命－

西蒲区内において最近あった事例。
地域住民が50代のひとり暮らしの方を心配に思い民生委員へ相談。民生委員から社協へつながる。
地域住民・民生委員・保健師・社協が連携し、本人宅を訪問。
体調不良の状態で生活しており、すぐに救急車で搬送される。
⇒**地域住民の気づき**がなければ亡くなっていたかもしれない・・・。
そのため、支え合いシートのように住民の方の気づき・思いやりの力は非常に大きいものになると考えている。



【2-①「地域で出来る助け合い活動」について】

－3. 高齢者の単身・夫婦世帯への質問事項(聞き取り)について (漆山社会福祉協議会)

福祉座談会を行うにあたり、事前に漆山社会福祉協議会と地区担当民生委員で高齢者世帯を訪問し、聞き取り調査を実施。

－聞き取った生の声－ ※一部抜粋

質問①現在困っていることは？

- ・重い家具の移動や庭の手入れ、除雪ができない。
- ・日中の話し相手がない。
- ・怪我をした際に頼れる人がおらず、たまたま来た来客者に救急車を呼んでもらった。

質問②将来、不安に思っていることは？

- ・自動車の運転ができなくなると通院や買い物をどうすればいいか不安。
- ・経済面が不安。
- ・健康面が心配(認知症、施設入所できるか等)。

質問③漆山地域に「お茶の間」のような場所があったら利用しますか？

- 利用したい
 - ・会話や運動等を楽しみたい。
- 利用したくない
 - ・人付き合いが疲れる(目的がないと行きづらい)。



－4. 質疑応答

「**実際困っている人がいることが分かった。住民が行う生活支援について視察に行くと聞いたが詳しい情報を聞きたい**」

⇒西蒲区支えあいのしくみづくり推進員:塩澤推進員が回答
横戸・卯八郎受の取り組みについて紹介。

「**支え合いシートは今後どう取り組むか**」

⇒漆山社会福祉協議会 樋口会長が回答
今後も継続する。皆さんの協力を願う。
巻圏域支えあいのしくみづくり推進員:佐藤推進員助言
漆山地区の先駆けた取り組みを他地区が手本にし取り組んでいる



「**コミ協開催敬老会には地区に協力要員について**」

⇒巻地区民生委員:梨本民生委員が説明
各地区(23自治会)女性部2名が動員、若い世代次期担い手。



「**巻圏域サービスガイドを自治会で利用について**」

⇒巻圏域支えあいのしくみづくり推進員:佐藤推進員が回答
佐藤推進員が作成したもので有効利用は可能。また、改定がある、今回買い物サービス・地域の茶の間が新たに掲載がある。

－5. 終りに各機関より一言

西蒲区役所健康福祉課

・にしかんウォーキングの紹介。住民の声は貴重なのでいろんな場を通して相談しながら住みよい地域と一緒に作っていきたい。

包括支援センター巻

・この時期、高齢者見守りで熱中症が心配。高齢者に関する総合相談窓口だが、高齢以外の方も各機関と連携して困りごとの解決に取り組むので心配な方がいたら相談していただければ。

西蒲区社会福祉協議会

・聞き取り調査では、住民や地域での困りごと・課題が浮き彫りになったように思います。当会も共に汗を流しながら地域づくりに努めたいと思います。



見逃さず受けとめる社協
つなぎ共に創る社協

潟東地区福祉座談会 まとめ

開催日: 令和元年11月5日(火) 19:00~20:30

【当日の流れ】

1. 開会挨拶...潟東地区社会福祉協議会 会長 小林信雄
2. ワークショップ
3. ワークショップ総括...西蒲区社会福祉協議会 五十嵐事務局長
4. 閉会の言葉...潟東地域コミュニティ協議会 会長 佐藤正昭 様



【グループワーク】

各地域の昨年の座談会で挙がったまとめを基に、その後について現状を確認し、各地域での進捗状況や意見・感想、また実行してみたことについての課題ややれなかったことについては何故かなどを地域ごとに話し合う。

【地域: 茨島・称名・美里グループ】

○行動計画についての進捗状況や意見・感想等

- ・茨島: 声掛けしたいが未実施
個人情報の伝達は判断困難
- ・称名: **役員と救助に向かう人を決めた**
- ・美里: **班体制整ったが、実際に活動できる...**

○課題(やってみての課題や、やれなかった場合はその理由等)

- ・防災訓練の実施方法や地域への周知の仕方
- ・防災のための準備、補助金」の手続きなど
- ・**機能できる組織を目指して、来年はぜひ実施したい!!**



【地域: 今井・国見南・大曾根グループ】

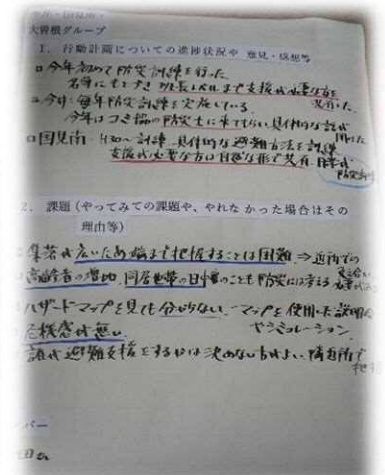
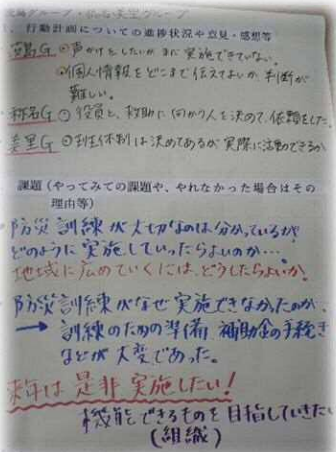
○行動計画についての進捗状況や意見・感想等

- ・**今年初めて防災訓練実施**
⇒班長レベルまで支援が必要な方を共有
- ・今井: 毎年防災訓練実施
⇒今年はコミ協の**防災士に来てもらい具体的な話を聞けた。**

- ・国見南: 昨年からの防災訓練実施
⇒具体的な避難方法を訓練

○課題(やってみての課題や、やれなかった場合はその理由等)

- ・集落が広く把握困難⇒近所で支え合い必要
- ・高齢者の増加、同居世帯であっても日中の対応検討必要。
- ・**ハザードマップの見方⇒マップを使用した説明会やシュミレーションを行う**
- ・危機感がない
- ・誰が避難支援するかは決めず、隣近所で把握する。

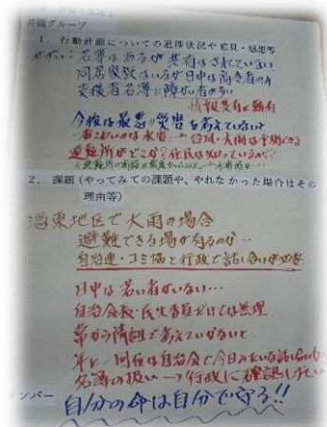
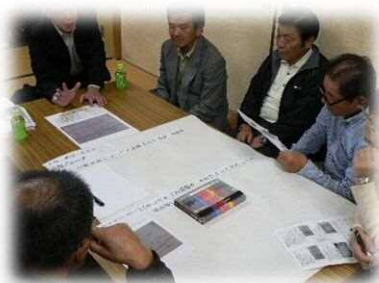
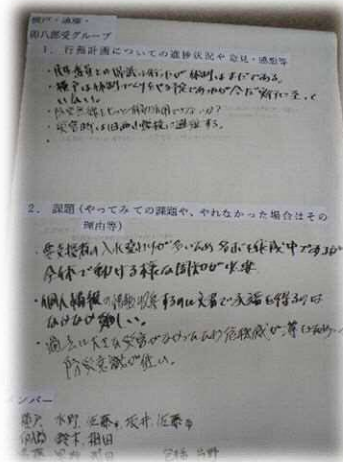


【地域：横戸・遠藤・卯八郎受グループ】

- 行動計画についての進捗状況や意見・感想等
 - ・民生委員との協議は行ったが、体制はこれから。
 - ・横戸は体制づくりをやる予定だったが、未実施。
 - ・**防災無線の有効活用の検討**
 - ・災害時は旧西小学校に避難する。
- 課題(やってみての課題や、やれなかった場合はその理由)
 - ・要支援者の入れ替わりが多いため、名簿も作成中。⇒全体への周知が必要
 - ・個人情報の収集⇒文集での承諾困難
 - ・**災害がないため危機感薄く、防災意識も低い**

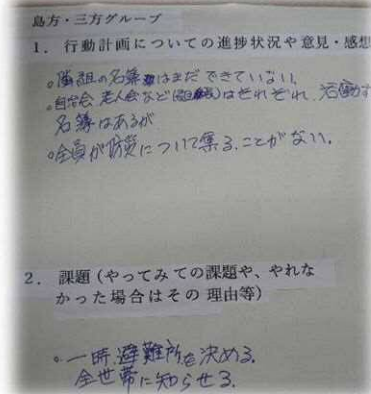
【地域：大原・番屋・五之上・井随グループ】

- 行動計画についての進捗状況や意見・感想等
 - ・井随：**名簿はあるが共有されていない**
 - 同居家族はいるが日中は高齢者のみ
 - 支援者名簿に障がい者が多いが、情報共有が難しい。
 - ・**今後は最悪の災害を考える必要がある**
 - 水害・・・台風や大雨は予想できる。水害時の避難開設はどこか、住民は知っているのか。
- 課題(やってみての課題や、やれなかった場合はその理由等)
 - ・大雨の場合、避難場所
 - ⇒自治連・コミ協と行政で話し合いが必要
 - ・日中は若い人がいない
 - ・自治会長、民生委員だけでは難しい
 - ・常日ごろから隣組で考えていく
 - ・年に1回くらいは自治会で話し合いを行う
 - ・名簿の扱いについて行政に確認する
 - ⇒**自分の命は自分で守る！！**



【地域：島方・三方グループ】

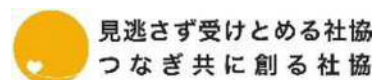
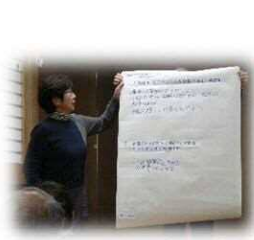
- 行動計画についての進捗状況や意見・感想等
 - ・隣組名の名簿は未完成。
 - ・自治会、老人会のみ名簿を把握。
 - ・**防災について集うことがない**
- 課題(やってみての課題や、やれなかった場合はその理由等)
 - ・一時避難所の必要性
 - ・全世帯への周知



【全体のまとめ】

今回の地域福祉座談会では、昨年の地域ごとでの話し合いを基に、進捗状況や課題等について話し合いを行った。昨年と同様の班に分かれて、今一度自分たちで挙げた防災時の取り組み等について振り返ることができた。「今年初めて防災訓練を実施し、情報の共有ができた」「班体制を整えた」「具体的な避難方法を訓練した」等、地域で前進していたところや「まだ実施できていない」「全員が集うことがない」「危機感がない」等の次への課題がみえた地域もありました。しかし、皆さま「地域での話し合いが必要」というところは共通して話されていたのが印象的でした。すべての人を大切に笑顔あふれる湯東を目指して活気ある議論が行われました。

R1.11 西蒲区社協：本間作成



角田地域福祉座談会 まとめ

開催日：令和2年2月25日（火）13：30～15：30

めざす方向	具体的な取り組み	進捗状況	今後の対応
<p>【目標1】 福祉の移動サービス開発</p>	<p>買い物や通院、コミュニティセンターを利用した集まり等の足の確保</p>	<p>○角田：仲間内(個人的)で乗合(買い物や通院)している現状がある。 ○とくし丸(移動スーパー:火曜七浦の里～ふれあいセンター)や個人商店が売りに来るサービスが入っている。</p>	<p>【案】 ○コミセンでワゴン車を所有し買い物支援</p>
	<p>移送サービスの研究</p>	<p>○数年前に年末の買物ツアーを試験的に行ったが上手くいかなかった(既存の商店との関係、数名しか乗らなかった) ⇒数名でも困っている人が居た ○通院の課題</p>	
	<p>買い物サポート事業の開発</p>	<p>○角田にある二店の商店が高齢者の集いの場になっている。移動スーパーが参入してきて存続が不安。 ○五ヶ浜：販売に来ていた商店が終業した。困っている。</p>	

めざす方向	具体的な取り組み	進捗状況	今後の対応
<p>【目標2】 高齢者も、若者も、暮らしやすい地域づくり</p>	<p>コンパクトなまとまりを活かした支え合いの仕組みづくり（見守りや茶の間サロン活動）</p>	<p>○結びつきが強すぎて茶の間でケンカが生じる。(●●が居るから行かない) ○角田：茶の間の運営が民生委員の負担になっている。</p>	<p>【案】 ○角田：茶の間の運営をある程度組織化したい。 ○コミセンを高齢者や児童の居場所にしたい(児童は既になってきている現状がある) ○配布物を通じて見守り活動ができるといい(ポストに投函ではなく直接手渡し)</p>
	<p>自助、共助お互いさまの地域づくり（そっとしておいてほしい人たちへの働きかけ）</p>	<p>○角田：茶の間で食事提供を行った結果、孤食へのアプローチになっている。 ○男性の参加が少ない。 →畑仕事等やることがある為 →老人会の集まりには参加 ⇒越前浜はカラオケ・酒で参加してる？</p>	
	<p>児童や高齢者の居場所づくり</p>	<p>○角田：月1回・冬は毎週、長生荘で高齢者の茶の間実施中(自治会助成協力) ○越前浜：ふれあいセンターにて毎週火曜の茶の間(昼食有り)を開始。(市の助成金活用)地元の参加が少ない。 ○他人の子も自分の子のように育てる気風が残っている。</p>	

めざす方向	具体的な取り組み	進捗状況	今後の対応
<p>【目標3】 支え合いの人づくりで地域力アップ</p>	<p>講演、講座で人材育成と意識改革</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○健康増進活動 ○エコ活動＝地域の自然を守る活動に力を入れている(先進地視察毎年) ○世代を超えての活動が無い(以前は運動会があった) ○祭りを開催している(世代や役を超えて)。 ○地域間の分け隔てが残っている(角田・越前) 	<p>【案】 ○地域の運動会を開催(世代を超えて) 参考：潟東・中之口は現在も村民大運動会が続いている(集落対抗)</p>
<p>【目標4】 人口減少への取り組み</p>	<p>空き家についての取り組み、高齢者シェアハウスなど</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○海・山といった自然の魅力と健康増進(新たにキッズレスリング・トレイル等スポーツをする場が生まれている)の活動を目標としている。 ○五ヶ浜：既に人口減(30人台突入、後期高齢者80%超)が深刻で防災対策も困難。 ○越前浜：移住特区(日本第1号)⇒角田浜にも波及(五軒移住)している。 ⇒移住に対して受け入れ方が変わった。 	